

みんなで考える自治体DX ～気づきとつながりで進める行政分野の課題解決～ を開催

東海総合通信局（局長：増山 寛）は、東海情報通信懇談会との共催で「東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会 勉強会 みんなで考える自治体DX～気づきとつながりで進める行政分野の課題解決～」を、令和8年7月28日に開催しました。東海管内の自治体と企業等の団体から、約30名が参加しました。

「行政分野」のDXをテーマに、第一部では、国の施策説明や静岡県裾野市・岐阜県下呂市の先行事例紹介を行いました。第二部では、講演者も交えて自治体や企業等からの参加者が生成AIの活用やデジタル化の推進など自治体DXに関する悩みや知見等について活発に意見交換を行い、和やかな雰囲気の中で参加者同士の横のつながりを深めました。参加者からは、「現地開催ならではの臨場感で、自治体・企業それぞれの目線からの意見交換や交流ができて良かった」といった声がありました。

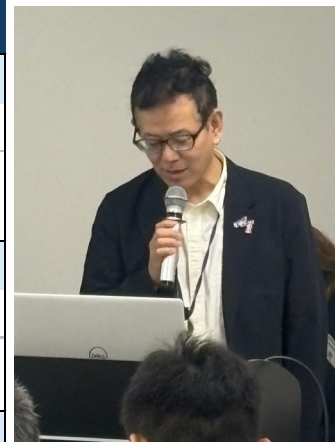
第一部 【講演会】国の施策や自治体DXの事例の紹介

施策説明 ①	自治体DX推進に向けた総務省の施策について 総務省自治行政局地域DX推進室 林 雅彦氏
	行政サービス及び地域課題の解決について、デジタル技術やデータを利活用し、住民の利便性向上を目的とし、地方公共団体の取組を着実に進めていくにあたって、総務省の取組を紹介。
施策説明 ②	ひとりでがんばらない自治体DX～共創からはじまる「つながる」DX～ デジタル庁・浜松市 村越 功司氏
	自治体同士が助け合い、励ましあって進める「ひとりでがんばらない自治体DX」と、助けてもらった自治体が今度は他の自治体をサポートしていく、「つながるDX」を紹介。
事例紹介 ①	窓口改革の取り組み 地域情報化アドバイザー・裾野市総務部デジタル統括課 中原 義人氏
	総務省自治体フロントヤード改革モデルプロジェクトを経た、裾野市の窓口改革について、数値を元に現状を説明。
事例紹介 ②	ぬくもりのDX。下呂市が挑む「Unbound（解き放たれた）公務員」 地域情報化アドバイザー・下呂市最高デジタル責任者補佐官 長尾 飛鳥氏
	2040年を見据えた自治体の生存戦略。生成AIを前提に業務を再設計し前例踏襲からの脱却を目指す。経験のデザインで自律的な変革人材を創出する人と組織の泥臭い挑戦。

第二部 【交流会】講演者と参加者の意見交換・交流

グループ別 2セット	参加者が関心事や悩み等に応じてグループになり座談会方式で自由に意見交換・交流を実施。
---------------	--

お問い合わせ先：情報通信振興課（電話：052-971-9108）



増山東海総合通信局長
開会挨拶



第一部 講演会の様子



第二部 交流会の様子